発行所
三池炭鑛勞働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
炭電 528 475 番

編集発行人　平島敏治
三鉱労組印刷工場

三鉱労組
機関紙

頑强に統一交渉を拒否

三菱の重点スト続く

期闘の窓口交渉突破のチャンピオンとして三菱美唄、高島は敢然として十三日無期限ストに突入した翌十四日美唄では全山総決起大会を開き、要求貫徹まで断固闘う決意を固めた。高島も美唄同様强力な闘争決意を固め、炭婦協、青協は敢然先頭に立つて闘つている。これより先、九日八社ブロック期闘を開き各社と交渉したが、会社側は

一、炭界の状況その他から考えて賃金においては勿論であるが、期末手当についても事情をよく知つている企業運と充分協議して決めることが望ましい。

二、現在鉱業運盟は解散したゝめに統一交渉は出来ない。

三、企業の実態が異つているので画一的にやられては困る。

などと頑强に拒否している。これに対して炭労では十八日、中央闘争委員会を開き十九日左の情報を発した。

一、三菱の現況進展なし、従つて闘争は長期化の覚悟を要する。当面の闘争强化を図るため

①各支部は抗議デモを明二十日行い

②中央では炭労を中心として三菱本社にデモを行う

二　カンパ金三百円早急に送給されたい。

三、八社ブロック闘争資は一人当り四円。

四、職組の要求額四万五千円確認した。

交渉に應ずべきだ

佐藤所長（三池）見解を表明

期末手当闘争に関しては十一月二日交渉開始以来、会社側は終始対角線交渉には応じられぬ、とかたくなに突つ張ね、その後今月十三日三菱美唄、高島の無期限重点スト突入によつてもなお局面の打開が得られないので、三池では二十日午前十時菊川副組合長、河野書記長はじめ各支部長らが本社に赴き佐藤所長はじめ会社側幹部と話合いをもつて（対角線交渉についてはどう考えるか）と詰めよつたのに対し、佐藤所長は（希望としては資本別を望むが炭労が対角線交渉の方針を決定している以上、これに応じないわけにはいくまい）と答えた。さらに（それは三井鉱山としての意向か、それとも佐藤所長個人の見解か）と反問したのに答えて（会社を代表する意味ではなく、私としてそう考えている）とのことだつたので、その旨を即刻本店に対し対角線交渉に応ずるよう会社としての方針を決定した上、三菱にこれを伝えるよう要請してもらいたい、と迫つた結果、佐藤所長はこれを応諾、即日電話で東京本店に連絡をとつた。午后二時現在本店からの回答はまだない。

七五三も鉢巻しめて

せめてこの児にも晴着きせたい

前進

保守陣營との對決

首相の外遊中から反吉田の旗の下、利害関係を中心に離合集散の猿芝居を演じて来た利権屋共が、それでもどうやら新黨結成の運びに漕ぎつけたようである。

どう云う名稱になるか、だれが首班に選ばれるか（鳩山か本命とは目されるが）政策綱領をどう謳うか、まだ何にも決つて居ないが蓋をあけて見るまでもなく新黨の性格は明かである。一言にして云えば政権を繞る椅子と利権の奪い合いであり、相踵ぐ疑獄事件ですつかり國民の信望を失くした自由黨、改進黨等の札付き共が上ッ面を糊塗し、新しいものに期待を寄せ勝ちな人間心理につけこんで、これまで享受して来た甘い汁を吸い続けようとするカムフラージュ以外の何ものでもない。

ならば、このような性格を持つた保守新黨がこれから何をしでかすか、これ亦自明の理であろう。即ち、資本家階級の紐付である彼等保守黨の宿命からして、当然先ず資本家擁護に忠実たろうとするだろうし、それはまた必然的に日本における独占資本化の傾向に拍車し、やがては全体主義、軍國主義化への道にも通じ、政策的に日本國民を外國に賣り渡す結果が憂慮される。

× ×

かくて保守、革新入り亂れた混屯たる情勢の中に、三十日から臨時國会がひらかれる譯だが、吉田歸國の諸問題を含めた複雑な事情からしても、解散にまで發展するだろうの見透しは相当强く、これを契機として舊帝國主義的な方向に後退を余儀なくされるか、それとも革新勢力の伸張により、真の民主々義を自らのものにし得るか何れにせよ國民大衆、特に労仂者の運命を大きく支配する重大な分岐点となるだろう。

この際、低賃金政策を打破し、平和と生活を守るため、この機を逸せず農民、中小企業者を引ッくるめた廣汎な勤労大衆の勢力の結集と戦線の統一を圖り、革新陣営の格段の飛躍を期さなければならない。

書記局便り

十一月十五日　山の上事件公判
〃　〃　選挙対策委員会
〃　十六日　大地評共闘委員会
〃　十七日　西鉱運臨集会議
〃　十八日　国鉄労組応援
〃　十九日　団体交渉

各社は個別交渉を固執

三菱美唄と高島は期末手当闘争の交渉突破のため十三日より無期限ストに突入して局面打開を図つているが、会社は依然として対角線交渉を頑强に拒否し続けているが他社も同様態度を示している。

【三井】
会社は現在の状勢から判断して企業運と交渉したい。

【北炭】
期末賞与はその性質上当社労運と職運との間で交渉したい。

【住友】
期末手当は賃金以上に企業的色彩が強いので、どうしても企業運と交渉したい。

【雄別】
三井と大体同じ態度で、特に雄別は浦幌鉱の閉鎖の問題があつて他社以上に今期は経営上の困難があるので企業運と交渉したい。

【太平洋】
八社の中でも最も企業が弱小であるから他社と同一の交渉は不可能である。

【古河】
従来の方針と変りはない。

【明治】
明労運との間で交渉を行う。他社との関連を綜合的に検討して再度回答したい。

大鐵勞組争議

協定書作製で終止符

大鉄労組の争議は大地評傘下各労組の支援を得て十一月十一日、吉賀組合長、梅崎社長、立会人として小宮大地評会長、地労委坂根、菅原委員の署名で協定書が作製されて円満解決した。

露骨な肩叩き

首切に抗して　死闘する杵島労連

吉田内閣のデフレ政策によつて益々苦しみは深刻になり、その苦しみを炭鉱労働者が一手に引受けているといつても過言ではなかろう鉱山を奪われながらもなお死闘を続ける数十万の労働者と家族がいる上に今度はまた地方大手である杵島炭鉱に企業整備に名をかりた首切の嵐が吹きまくる色は濃くなつて来た。過日の朝日新聞は杵島炭鉱の企業整備について次の様に報道している。

さきに重役陣を入替えた九州大手筋の杵島炭鉱では再建策の第一着手として主力鉱の三坑（月産約三万屯）を年内に閉鎖する。従つて同坑組合員を整理するか、杵島全鉱の賃下げを行うかの再建方式を組合側と話合つて決めたい旨、高取社長は放言し、組合側には何の申入れもなく職制を通じて露骨な、そして巧妙な肩叩きを行つて来た。組合は早速会社に厳重抗議し、新聞放談の真意を確める一方、九炭労に報告すると共に三池に応援要請を行つて来たので、三池では急遽花園法政部長と松尾教宣部長がニユースカーで杵島に乗込み、二月間にわたり全社宅に対し徹底的な情宣活動を行つた。

こうした杵島労運の强力な反撃で会社の露骨な肩叩きも一応ナリをひそめた様であるが、絶対に油断は禁物で会社は虎視たん〳〵と気配を伺つている様である。それは会社は首切の為、尨大な金を用意している事によつても明確であり今こそ杵島労運に止まらず、われわれは〃首切を認めることは生活を決定的な破壊に導き、賃闘、期闘の敗北〃である事を肝に銘じて会社の〃あの手、この手〃をはね返し、生活と平和を守る闘いを强力に押し進めねばならない。

杵島頑張れ！

三池支援態勢万全なり！

正に近江絹糸以上

日本化薬　厚狹工場の首切り

日本化薬株式会社（本社東京）組合員三千名、事業所は九州、北海道など総数十五、六ケ所あり最近山口県にある厚狭（アサ）事業所（約千名）に悪質な首切が行われた。三鉱運灰原事務局長が来牟の途中同所に立寄り、その実状が明らかにされた。以下は同局長の報告による。

事件の発端は　厚狭工場では今年の春賃上げ闘争の時に紙筒（ダイナマイトの火薬の包装）工場の約四十名の女子従業員が、会社が紙筒まきを外註（組合員の家族に内職させる）し、基準外労賃を縮減しようという悪質な一種の企業合理化に反対したことがあつた。この資本家的な利潤追及は一つの惨酷な手段で、家族に内職させるという口実で人員整理を企んでいたこれに対して全組合員は賃上げ闘争の中で遵法闘争、部分ストの争議を行つた。なかでも紙筒まきの女子組合員はスローダウンで果敢に闘つたが賃上げ闘争時だつたので、解雇等はなかろうと組合では考えていたし、会社も別に研究すると言つていたのでこの問題は解決せずにいた。ところが会社は相当周到な準備の下に十一月十四日附で一齊に九名の懲戒解雇、八名の出勤停止処分を発表し然も九名というのは現支部長津田直臣氏以下当時の執行委員であり、八名のうち五名は紙筒工場の女子組合員である。同時に会社は十五、六日を臨時休日とし給与は支払うと述べ、全組合員に解雇の理由書を出して声名書をつけ解雇の趣旨を徹底させて、この二日間のうちにたちまち工場と組合の出入口にバリケードを築き有刺鉄線を張りめぐらした。加えて懲戒委員会もなく労働協約もない中で就業規則を一方的に押しつけ、首切りと出勤停止を强引に行つたのである。組合はこれに対して不当な首切りであるとして憤激して闘つており、三池炭鉱労組の指導を願いたいと切実な気持を訴えている。

灰原事務局長談　就業規則を一方的に適用して懲戒委員会も持たないでやつたことは非民主的も甚だしい。絶対に許せない行為だ。これは小坂新労働政策の適用第一号と思う。この政策に便乗した最も悪質なやり方である又日本化薬は全国の火薬生産の四十パーセントを占めており三井鉱山特に三池鉱業所は日本化薬のダイナマイトを非常に沢山使用している一番のお得意様であるから、われ〳〵はこう云う不当な首切りを実施する様なヤバンな会社の作つたダイナマイトは使用しない様な抗議をやらねばならぬ。このケースのように最近の資本家の戦術は周到で悪らつであつて、われ〳〵の弱点をキチンと押えてきている。われ〳〵としてもこれからは闘いの前にいろいろ高度な観察をして応戦準備をしなければならないと痛感した。また遵法闘争、部分スト等が首切りの対象になつては今后の戦術に大きなワクをかけられることになり重視せざるを得ない。三鉱運本部からは直ちに組合に対して激電を打つたとの連絡があつた。

病人の目から涙

「米の飯は二十日も食べない」

救援カンパに出動した　野田ヤエさんの手記

寄稿

三池炭婦協ではボロを回収したお金を持て、去る九日月隈、松岡炭鉱へ五島会長、碩村、野田副会長三名が現地に出向いたがこれはその一名である野田ヤエ副会長の偽らざる手記である。

× ×

七千会員の真心で集められたボロを金にかへ、これを私ども本部の三名が中小炭鉱の同志に手渡すため月隈、松岡、新目尾を廻りました。そこにはあまりにも悲惨な状態に慄然として正視するに堪えませんでした、そして次に来たものは激しい怒りでございました。何も聞かなくても言われなくても一目見たゞけで私どもはこのまゝジッとしては居られない気持で一杯になりました。

月隈炭鉱ではトラックが着くと同時に組合員とその家族がワッと私どもを取りまき、好く来て下さいました、お疲れさまでした。と、口々に申され、組合本部に案内され、本部といつても三畳と四畳半の普通の家でタゝミは破れ壁はおちて、その壁には方々から送られた陣中見舞謝札の紙が所せましと張りつけられて吹き通しの風にヘタ〳〵と音をたてるのが何ともいえぬ哀れをそゝりました。色々と話を聞いて見ますとまだ充分な炭脈があるにもかゝわらず会社はもうからぬからと一方的に閉鎖しようとしており、働いていた時も坑内が百五十円、坑外は百円、何時間残業しても五円の増加でそれも後には坑内が百円で坑外は五十円で働いていたが、遂に支払つてくれず今年の二月から賃金は未払いになつたのです。私どもは奴隷よりなおひどい扱いをされて我慢して来ましたと、男泣きに泣かれました。その涙の中から火の様な怒りと烈々たる闘志の燃え上つているのをはつきりと感じ取りました月隈の組合員とその家族は全員命をかけて山を再開させると決意していました。私たちは三鉱組合員と共に絶大なる援助と協力を惜しまないことを約して別れをつげた。

次に組合員二十七名の松岡炭坑です。こゝでは月隈炭鉱よりなお一層ひどい状態で、トラックが着くと四、五才位の子供がボロ〳〵のパンツ一枚でハダシのまゝピン〳〵と跳んだり、小さな手を叩いて喜んで居り、何もわからぬ子供たちまで救援物資が来たことを知つているのです。私は胸の中が焼ける様な気持になり、涙がこみ上げて困つて仕舞いました。丁度組合員の人達は直方の会社事務所へ交渉に行つて居られ、二、三人しか居られず、その中の一人六十一才になられるという人の話ではバスで八十円かゝる距離の所をバス代がないために全員歩いて行つた。私どもは米粒は十五日も二十日も喰べないことは普通です。一週間毎に組合員が歩いて直方まで交渉に行き、一人当り百五十円づゝもらい、帰りに麦粉を買つてダンゴを浮かしたおつゆで命をつないで居ります。しかし私どもは炭労につながつて居る事を力強く又誇りとして居ります。草の根を喰いつくしても命が切れるまで決して団結は崩しません。あくまで正々堂々と闘いますと述べられた。こゝでは組合員の一人が栄養失調で倒れ、既にむくみが来て余命幾ばくもないということは一目で解りました。しかもその枕もとには汚い着物一枚の赤ちゃんがヘイヘイをして居りました。奥さんは山に薪を取りに行つて居られるとの事、見舞の言葉とお金を差上げたところ、口もきけない病人の目からハラ〳〵と涙がこぼれ落ちました。私は声を上げて泣きたい気持をおさへるのに苦しみました。

新目尾も又同じ状態でした。この様な友山の窮状を見聞して私どもは足元に火をつけられた思いでした。どうにかしなければならない、どうすれば良いのか。友山のこの惨めな状態は明日の私どもの姿でなくて何でしよう。ジッとしてはおられない私どもはます〳〵団結をかたくして自分達の生活の安定と将来の発展の為に一日も一時間も気を休めてはならないとつく〴〵思いました。

賃金要求獲得まで

食えないからの残業だ

三川支部職場第三十二分会では今次賃闘の前段闘争の一環として、職場の不満を会社に突きつけようと十一月十三日午后三時、ベルト工場を会場に百三十名が参加、華々しく鉱職合同職場要求貫徹大会を開催した。

池田分会長の開会宣言で幕を開け議長に鉱組の友成委員、職組の永井氏を選出、議事に入つた。折良く来牟中の山口炭労、宇部興産倚臨氏が会場に姿を見せ「私たちの組合は弱い組合でありますが、皆さん方の職場大会の模様を見て参考にしたいし、日本一強いといわれる三池に学んで帰りたい」と挨拶すると、頑張れの声援と拍手にしばし湧き返つた。

第三十分会の山口委員はメッセージに「日鋼室蘭の闘いも、電化の闘いもすべて戦争屋の一連の動きであり、これを封ずるためにもわれ〳〵は自らの手で要求の一つ一つを的確に闘い取らねばならないそのためには先ず団結だ」と述べれば満場拍手に沸き返つた。

残業は是か？否か？

つゞいて本大会のテーマである「残業問題」については「残業をさせろ」と要求すべきだということと「それは賃金闘争の八時間で食える賃金」と矛盾すると、二つの論争がつゞいたが、結局執行部の見解を聞くことになり、執行部からは「八時間で食える賃金を掲げている段階で残業させろの要求は今次闘争に支障を来たす」と説明があり、組合員からは「残業でもしない限り、俺たちの安い賃金では食えないじやないか、現段階では理論と現実は違う。この食えない状態をどうする」と、激しい論争が交されたが、結論として「現段階の食えないことは現実であり、それかといつて八時間で食える賃金の要求を放棄するわけにはいかないので賃金要求獲得までは残業をさせろということで前段闘争の中で有利に闘うことを決めてあくまでも統一行動を守ることで割切つた」ついで意見発表に移り、われ〳〵の闘いと併行して電化の闘いを勝利させよう、などの活発な意見が続出して最后に全員堅いスクラムを組んで労働歌「団結の力」を合唱し、大会場の割れんばかりの興奮のうちに第三十二分会万歳を三唱して有意義な大会を終了して午后五時三十分に散会した。

選對シリーズ（1）

近づく選擧戦

政治中斗をモリモリ送ろう

昭和三十年は地方選挙の年である。更に満身瘡痍に包まれた国会に眼を覆い、国民の强力な反対を押切つて外遊、帰国した吉田首相は全々国民の信頼を失い、かてゝ加えて保守陣営の分裂等で、ワンマン吉田の敵前上陸（商業新聞でさえ吉田首相の帰国をかく云つている）を機に、国会解散は必至の状態に立ちいたつたようである。

すでにわかりきつたことであるが、あえて今年度の行動方針にも明らかにしたように我々は危機に立つ日本民主化の最後の防波堤として各議会に政治の中闘を多数送りこんで闘わねばならない。

勿論我々が全国民の先頭に立つて暗黒政治への途に立ちふさがり、広く中小企業そして農民と共に生活と平和を守るための警鐘を鳴らさねばならないことは云うまでもなかろう。

過ぎる各選挙に於いて、われ〳〵は果敢な選挙戦を展開したが、特に市議戦は公認、非公認と共々の出馬を見たが結果的に惨敗の憂目を見たことは衆目の処である。

日本労働運動史上議會闘争は絶対に成功しないといわれた敗北的定義を、われ〳〵は昨年一一三日間徹底的に闘い抜き、その偉業をなし遂げ、英雄なき闘争として今日に及んだことは、あまりにも耳新しい現実である。

然しながら、われ〳〵は一時的勝利の陶酔に、諸々のことがらの本質を忘れてはならない。

従つて、次期選挙の結果、各議会に於ける勢力関係が如何に再編成されるかということによつて、一時的勝利が、あえて云う、不確実な勝利が確実な勝利になる所以であろうと……。

かゝる意味において、次期選挙闘争は極めて重且大であり、われわれは今日から直ちにその闘いを日常の中に採り入れて闘わねばならない。

本号より選挙シリーズを設けて公職選挙法に関する疑義解釈等を中心にして組合員と家族の皆様と共に研究して行きたいので多数の質問を期待する。

（法政部長・花岡慶一）

到達斗争重點スト決行支部に支援を

三鑛連指示第三〇號を發す

三鉱運では炭労期闘第七号に基き十六日左の如き三鉱運指示第三〇号を発した。

十一月十二日期手交渉方式に関する団交はついに決裂し、期闘委決定に基く三菱労運傘下の高島、美唄両支部は窓口突破のため十三日一番方より無期限ストに突入、益々意気旺盛である。

なお今日に至るも状勢の進展がなく、このことは来るべき賃金闘争に対する橋頭堡を築かんとする会社側の强固な態度の現われであることを明白に示す。

われわれは賃闘への前哨戦として会社側がどのような態度であろうと、要求貫徹まで断乎として闘わねばならない。

第五回八社期闘委は、この事態に対し重点ストの効果をさらに偉大ならしめるため、大衆動員ならびに重点スト決行支部に対する支援協力に関する決定をした。よつて炭労期闘委第七号に基き、左記の通り指示致します。

一、到達闘争における重点スト決行支部として美唄、田川両支部を先に決定したが、これらの支部に対しスト態勢確立のため各支部は激励、支援、協力をされたい。

二、具体的実施の方法及び指導については炭労期闘委第七号の精神に基き九、北運合会において行われたい。

四項目を確認

第三・四半期中央生産会議

昭和二十九年度第三・四半期の中央生産会議は十一月十三日午後一時から会社会議室で行われたが、この会議で次のことが確認された。

一、本期生産計画の実施に当つては保安を確保して生産を行う。

二、資材の節約に当つては作業に支障を生ぜしめない。

三、生産計画に基く作業量を確保し労働条件を低下せしめない。

四、各鉱所生産会議での懸念事項は早急に誠意をもつて解決する

驛頭にひるがえつた赤旗

国鉄労組賃金カットを撤回

国鉄労組が期末手当と賃金ベースの仲裁々定の完全実施の闘争を行つている。

十一月十八日、第三波の実力行使として大牟田支部の国鉄組合員約二百名が、職場大会を大牟田駅頭で開催した。この国鉄労組の闘いに大地評としても各単産よりの組合旗を先頭に約二百名が参加して国鉄労組の同志に闘う気概を一段と盛りあがらせた。

駅頭には国鉄労組の組合員と大地評の激励隊と一緒に職場大会を開き、坂本泰良前代議士をはじめ各単産代表より力强いメッセージがおくられ、国鉄労組の闘いが国鉄だけの闘いでなく、生活と平和を守る闘いとして、労働者、中小企業、農村の闘いであり、吉田内閣の政策を変更する闘いである。その闘いの先頭を果敢に闘う国鉄労組に深甚の敬意と今後益々勇敢に闘つてもらいたい、大地評参加の労働者はこぞつて闘いの支援をおしまないと激励が行われた。

この間三時間にわたつたが当局側は賃金カットを主張してゆずらず、八時間三十分にわたる接渉の結果、当局側はついに組合側の前に屈服し一〇〇％獲得を闘い取つた。

当日の全国的第三波の遵法闘争で列車は六〇〇分遅延した。さらに今後第四、五、六波と强力なスケジュールも組まれており、我々も最後まで力强い共闘を押し進めなければならない。

靴とカバン
革手袋各種品揃い
（御注文と修理は當店へ）
靴・カバンの　井上
有明町　市民会館横　TEL 2705

三鉱労組三川・四山支部御指定
トツプ・モード
紳士服・婦人服・靴
カバン・其他洋装百貨
二神百貨店
大牟田市泉町一四　電4887

セビロ・オーバー・ズボン
洋品雑貨　豊富品揃
お正月の御用意はゼヒ
服装のカワチ
市民会館前　有明商店街　電話4722

買物は便利なチケツトで
大牟田専門　店会加盟店
本田自轉車商会
市内東新町二丁目三作前　電3925
御指定｛宮浦（大浦坑）三池製作所
本所人事（電氣、輸送、建設課）